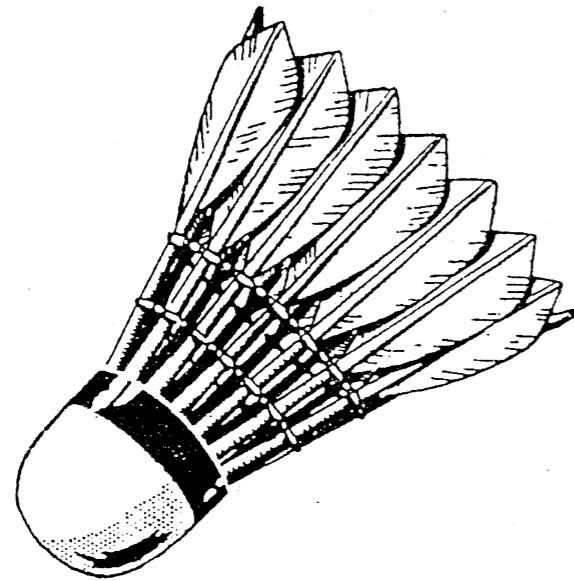


バドミントン競技

埼玉県東部地区予選会

団体戦
2複1単方式



期日 平成11年4月 17日(土) 男子
18日(日) 女子

会場 アスカル幸手 体育館

主管 埼玉県東部高体連バドミントン専門部

●競技上の注意

- (1) 服装……競技時の服装はバドミントン協会検定品とし、背中に学校名(下図)を表示する。
※シャツは短パンの中へ入れる。 タテ 約15cm
※ルースソックスの着用禁止 ヨコ 約30cm
※リボン等の装飾品の着用禁止
- 東部高校
(黒色または紺色)
- (2) シャトル……検定合格水鳥球(1種または2種)を各校で持ち寄る。
 - (3) 応援……声援でなく拍手で行う。
 - (4) パンチ……定員(団体戦7名)を守る。
 - (5) 棄権……必ず本部へ申し出る。また、試合のコールをして5分以内にコートへ入らない場合は棄権とみなす。
 - (6) 点数……全試合を正規ポイントで実施する。
15点ゲーム(男女ダブルス、男シングルス)
11点ゲーム(女シングルス)
 - (7) 試合直前にコートでシャトルを打つ練習は禁止する。
オーダー用紙はペンを使用して、フルネームを記入する。
 - (8) 第1ゲームと第2ゲームの間のインターバルは90秒間以内で選手はコートを離れることはできない。また、第2ゲームと第3ゲームの間のインターバルは3分間以内とする。いずれも主審が時間を計測する。
 - (9) 試合終了後、選手は主審と握手して感謝の意を表して下さい。
また、勝者はスコアを確認して、勝者サイン(個人名)を書くこと。

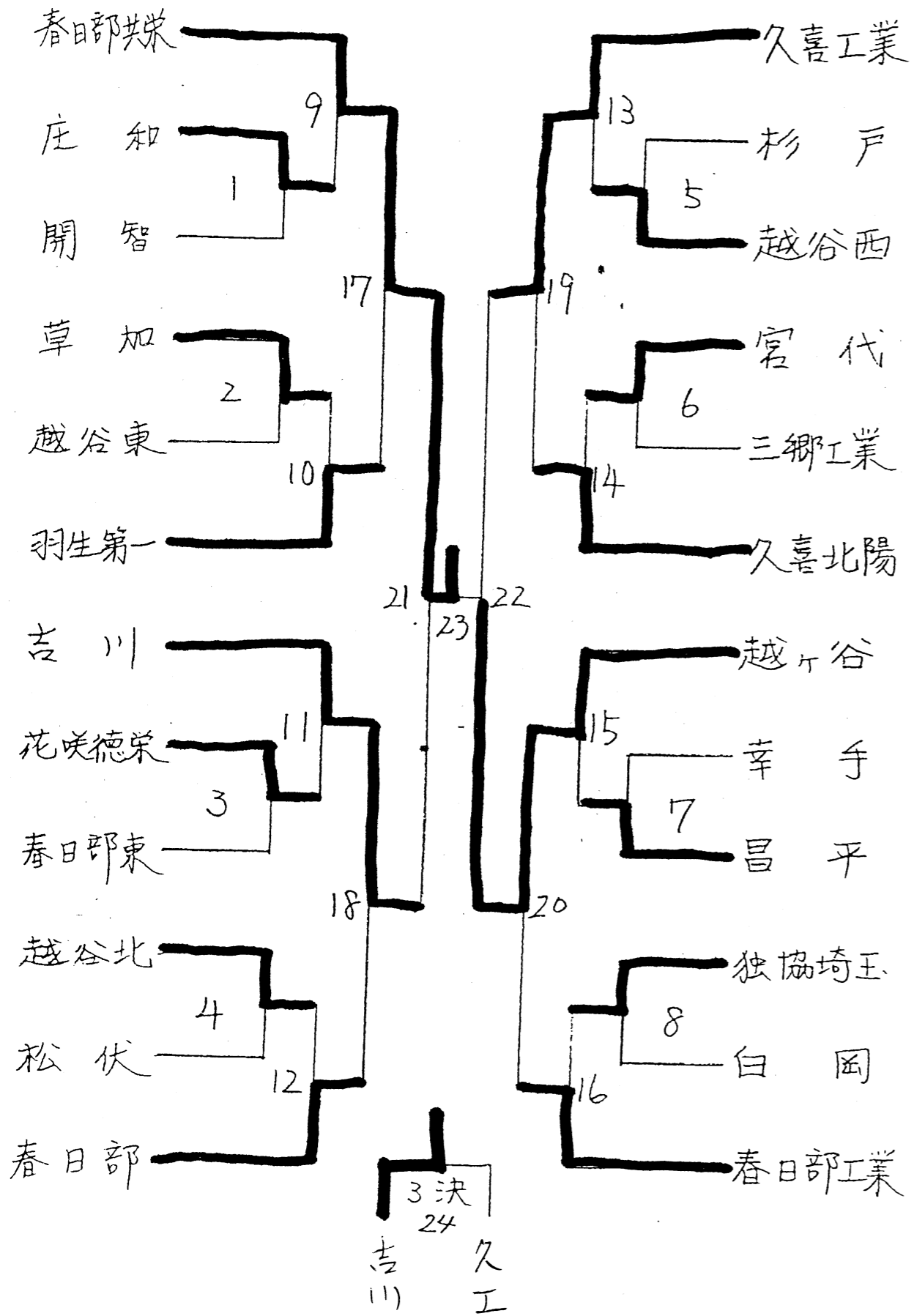
●審判上の注意

- (1) 審判については敗者審判制を実施する。
- (2) 主審は1名でおこない、大きな声でコールし、正しく記録する。
- (3) " は試合前に選手の氏名を確認する。
- (4) " は試合後に勝者のサインをもらう。
- (5) 得点表示係は主審のコールに従い、正しく表示する。
- (6) 線審はイスに浅くすわり、シャトルの着地点を確認して、「イン」「アウト」を主審に伝える。

●大会運営上の注意

- (1) シューズは屋内用と屋外用を区別する。体育館美化のため、下足用のくつ袋を用意すること。体育館のスリッパは使用禁止とする。
トイレは専用サンダルにはきかえて使用すること。
- (2) ゴミは各校の責任で、指示された方法で処理する。
- (3) 競技場、座席、トイレ、ロビーなど館内の美化に努める。
- (4) 写真撮影については、フラッシュの使用を禁止する。
- (5) 体育館フロア以外でのシャトル打ちは禁止する。
- (6) 貴重品の管理については各校、各個人の責任においておこなう。

平成11年度 学校総合体育大会兼関東高等学校体育大会
 バドミントン競技 団体戦 男子
 H11.4.17



平成11年度 学校総合体育大会兼関東高等学校体育大会
 バドミントン競技 団体戦 女子
 H11.4.18

